

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	経済学 I		（ NGB22I ）
講義名（コード）	経済学 I		（ NGB22IX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	経済が企業経営や日常生活に及ぼす影響などを事例と共に学ぶことで、社会人としての常識となる経済理論を習得する。また、実践的なワークを通じて経済活動を身近に感じることで労働意欲の醸成につなげる。
全体の内容と概要	「日常生活」「企業活動」「貿易」「金融」などの分野における経済理論やそれに伴う現在の国内や国外の経済情勢を座学にて理解する。また「模擬ビジネス」を通じて経済活動を実践してみる。
授業時間外の学修	地域経済のモデルケース視察や模擬ビジネス展開のための実践ワークなどを進捗に合わせて計画する。
履修上の注意事項等	授業での言語は原則日本語で実施するため、ヒヤリングできる程度の日本語語学力が必要。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	出席率 70%以上で期末試験受験者を対象とし、授業内ワークへの参加態度並びに意欲も評価対象とする。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・経済学の範囲と学習概要 ・グループコミュニケーションと最終目標の設定
2	経済に関する基本的考えを理解することができる	・経済学の歴史的推移と考え方の変遷 ・「個人」「企業」「政府」による経済主体の構造
3	経済に関する基本的考えを理解することができる	・マクロ経済とミクロ経済の構造 ・行動経済学の概要
4	日常生活における経済理論を理解することができる	・モノの値段の理論（需要と供給） ・お金を支払う行為に対する考え方
5	日常生活における経済理論を理解することができる	・商品の特性（財とサービス） ・需要と価格の関係性
6	企業活動における経済理論を理解することができる	・企業の存在理由 ・企業活動における儲けのしくみ
7	企業活動における経済理論を理解することができる	・企業はなぜ倒産するのか（生存戦略） ・完全競争市場とは
8	企業活動における経済理論を理解することができる	・独占市場と寡占市場の特徴 ・市場が機能しなくなる理由
9	政府の経済政策を理解することができる	・政府における市場の効率化と格差是正 ・経済政策に係る日本の法律や規制
10	政府の経済政策を理解することができる	・ケインズ経済学の概要 ・現在の日本の経済情勢とGDP
11	経済活動の実践を通じて市場動向を実感することができる	【実践ワーク】 ・モノの値段を決めてみよう ・ターゲットとなる消費者を見つける
12	経済活動の実践を通じて市場動向を実感することができる	【実践ワーク】 ・原価と利益を計算してみる ・市場調査
13	経済活動の実践を通じて市場動向を実感することができる	【実践ワーク】 ・販売実践 ・消費者に向けたPR方法 ・利益計算
14	期末テスト	・記述式テストの実施
15	テスト内容のフィードバック	・テスト内容に関するフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	特になし（独自資料の作成）
参考文献・資料等	ビジネス教養「経済学」（井堀利宏 著・新星出版社）他
備考	